

パネル展示を見て

1月13日 被災場所は、公園や学校だけだと思っていたが
(水) 競技場のような場所も写真に刺さっていた。ペットの
家族と暮らす1人後のエサなどはどうしていたのだろうか。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今まで、震災と仕事については、消防士さんなどしか知らなかった
が記者などの新しい視点から見た学習ができた。
パネル展示では、被害の全体的な姿だけではなく細かい
所の写真もあり震災の後の生活の様子がよく分かった。
自分が通ったことのある道や行ったことのある場所が被害に
あった写真を見ると今までより地震が神戸で起きたと
いうことを身近に感じる。

パネル展示を見て

1月15日 写真は悲しいことばかりが写っていたけど笑顔の人も
(金) いて、こういう時だからこそ笑顔でいることが大切
なんだなと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会で学んだことは、自然災害をとめることはでき
なくても、被害を最小減におさえることはできるというこ
とです。地震はいつおこるか分からないけど、日頃
から準備し、どう動いたらいいか分かていれば、すばやく
行動することができし、落ち着いて物事を考えられるから
です。パネル展示を見たら、助け合っている写真が多く、笑顔
の人もいました。最初はなぜ笑顔なのか分からなかったけ
れど、講演会や自分で考えたりして、こういう時だからこそ、
笑顔である必要があるんだなとあらためて思い、考えるこ
とができました。このことを後世に伝えていけるような大人にな
りたいです。

パネル展示を見て

1月13日 ここに引越して来た時、すごくきれいな所だったと
(木) 感じたけど、地震があった時は戦争の後のようだった
と分かり、復興するのには大変だったのだろうなと感じました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会では、自然災害の恐ろしさを改めて感じ、防災、減災についてもう一度深く考えることができました。また、コロナ禍の中、避難所でのソーシャルディスタンスなど、今災害が起こったら、避難所ではどう過ごせばいいかが分かったのも、これからの生活に生かしていきたいし、周りの人に広めていきたいなと思いました。私は神戸に引越して来たので、阪神淡路大震災についてよく知らなかったし、震災後の様子を見たことがなかったのも、今回の講演会はとても勉強になりました。今回の授業で学んだことを身近な人だけでなく、色々な人に広めて、一人一人の防災意識が高まっていくといいなと感じられました。

パネル展示を見て

1月14日 焼けた家などが「だいたいだ」が「その中にも食べ物
(木) をくばったりしている人がいて人間は目かけ合いた
と感じた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

三好さんの話を聞いて、神戸が燃えていたりくずれた家、遺体などを見るのは本当につらくて、それを取材するのは本当に苦しいんだろうなと感じました。僕たちは被災したわけではないけど、つらさは心に響きました。これが、この状況をもし僕が見てたら、泣きそう、泣いてしまいそうな気がしました。そして地震以外でも、色々な方が負傷者は多くて、熱中症も自然災害とは知りませんでした。この話を聞いて、できるだけのことをしておきたいと強く思いました。

パネル展示を見て

1月14日 もろふでぬくもっている戸や、ヤシキをのけている戸を
(木) とっているのをぞろぞろと胸が苦しいたさるると思ふ

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

神戸新聞も大変だったのに、みんなのために被災地について
写真をとりにいったり、取材をしに家族の事も心配してたらんと思ふのに、自分のできるところを
している所を見てもみんなは勇気と希望をぶたと思ふ。
みんなが自分の出来る事(助け合う事、はげまらう事)をしたから
今の神戸があると思ふ。

パネル展示を見て

1月14日 写真を見るだけで、その頃の被害の大きさを
(木) がよく伝わってきて、自分の知っている場所
がこんなことになるのかとおどろいた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

日常はとても大切で、かけがえのないものだと思ふ。
たった一つの地震で、すべて壊れてしまい大事な人を
亡くしてしまうのはとても辛いと思ふので、防災をしっかりと
行うことが大切と、あらためて思ふ。こんなに被害があ
って、家族のことも心配だろうに、新聞を書いて被災者
の方々のために情報を集めてくばっていたのを
聞いて、その新聞を見て、被災者の方々が元気になる
ような言葉がたくさんあり、書く人も写真を撮る人も、
くばる人も、みんなで力をあわせて、できた新聞なの
で、すごいものだと思ふ。心に残った。この学習で、
災害が来ても、大丈夫なようにしたい。

パネル展示を見て

1月1日 ぼくが知っている戸がいくつかのって
(水) いましたかこんなにぐちゃぐちゃだった
なんてびっくりです

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

本当に地震にあった人の話をきいていると、よりリアルに当時のことがわかって、少し恐ろしかったです。ぼくも、そんなことを経験していたら、精神的にしんどいと思います。災害は、地震だけじゃなく、噴火や台風などもあり、とてもこわいことがわかれました。今は、コロナがはやっているので、もしこんな時に自然災害が起きたらとても大変だと思いはした。これからは、減災めざしてがんばりたいです。

パネル展示を見て

1月15日

(金) いろんな建物がくずれていて、その中には、
いくつもの命があるということを考えると胸が痛いです。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

わずか26年で完全にふっこうできたことは、すごいと思います。大切な人をなくした人の思い(想い)を胸に、これからもがんばりたいと思います。僕は大きな地震(4以上)を経験したことがないので、人々はどのような恐怖をかかっていたかは、わかりにくいですか。方が一地震がおきたときには、対応できる(対応)ができるように、しっかり備えていきたいです。

パネル展示を見て

1月14日

(木) 映画のような風景で、写真1枚1枚から当時の様子
が伝わってきました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

地震はいっしょに多くの物をうばう存在。そんな地震を止めることはできないから、備えることが大切だとわかった。二度とこんなにも多くの犠牲者を出さないために、後世に伝えていこうと思った。みんな家族が心配なはずなのに、みんな情報を伝えるために神戸を駆けまわった記者さんたちはヒーローだと思う。神戸がこれまで復興したのは、当時の人たちのがんばりがあってこそなんだなと思った。

パネル展示を見て

1月 日 自分のお家の近くにも「昔は、こげじりあいたんや」とか、

() 「昔の建物のままだよ」といったことを知るきっかけ
になりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

町の人々にどんな方法を使っても今の状況'を伝えたいという気持ちがひしひしと伝わってきました。そしてその新聞を見た人を元気にさせるような内容を書いた。これ好きだよと言っていました。これを聞いて人は心と心でつながっているなと感じました。

私達の町では自然災害が多くおきていても、このコロナ禍の中で、避難しなければならなくなったときに対応できるように、どこに避難すればいいのか、どのような危険があるのか、など、情報を知らしておくことが必要だと思いました。

災害についての知識をもち、少しでも被害を減らすことができると思っています。

パネル展示を見て

1月13日

(水) 今の町とは全然ろが、て、もえたり。
町がほうかいしてあとかたもなほある

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞社で働いている人は、災害や事件など、なにか
出来事がおこたら、すぐに現場にいき取
材をしなさいといけなさいので大変な仕事だと思
いました。しかしこの仕事はとてもやりがいのある仕事だと
感じました。災害がおきたときの対応方法や、避難所
に行く場合の特等物や気を付けなさいと
なにかがわかりました。今回の講演会
をいかして、災害がおきても生きのこれ
るように、対策をと、ていきたいです。

パネル展示を見て

1月14日 パネルを見てお母さんを探している

(木) 子供とか救済物資をもろい食べなごん
でいる人がいた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

パネルでは、お母さんを探している子供とか
救済物資をもろい食べなごんでいる人
がいて、久しぶりにジャンプをしてもろて
うれしそうにしている人もたくさんいた。
私達は震災を体験していないけど
お母さんから色々な事を聞きました。
私の祖父母の家は地震でつぶれて
今はきれいになっていて、いるけどその話を
聞くと悲しくなるし、いつ起きても対応
できるように用意をしていて、いいなと思はした。

パネル展示を見て

1月13日 火災の写真が多々あるのに大きな火事は見たことがなかったのでもしよげき
(水) 的だ。震災して直後の写真同様に、これが本当に神戸の状況と見えてる。でもどろろに
ていたのは、今の写真は震災して20年経たないけども、いかに変わっていったか。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

いつ起るか分からない自然災害はしっかりと準備が必要だと思った。神戸新聞の方々は
はなしと聞いて新聞で色々な人に伝え、その記憶をしっかりと保存できるのがいい。新聞
の中だと水がたまって読者の方に分かりやすく、情景を思い浮かべることができる。明日
伝えるという気持ちで、しっかりと伝える。自分たちも、神戸の町のために、
早く情報を伝えるために、いざいざ現場に駆けつけるとして、大変な仕事だ。私
たちはこの講演会で学んだことを未来に伝える。震災の記憶をしっかりと残してい
る。それが大切だ。阪神有明は震災の記憶をしっかりと残す。それが大切だ。

パネル展示を見て

1月13日 鎮魂め、思、たとは、地震はいろんな危害をくわえるけど、みんな
(水) が協力して街を復興させよう。かまおているのがよくわかりました。
した。地震はこわいということをあらためて知りました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

三好さんが阪神淡路大震災でいろんなことを学んでいて、それをみんなに伝える情報がある
ように、必ずしも新聞を書く、というのがよく分かりました。いろんな災害にあいながらも、その都度
学んでそれをいかすというところが大切だ。というところが分かりました。僕は、阪神淡路
大震災にあつたけれど、何度も勉強してきた地震がこわいということは何となく
し、この先にもかおるかもしれないから、そのために準備することが必要
でした。三好さんの話を聞いていて、この阪神淡路大震災がとくに、この危害を
くわえてよく分かりました。おかげでこういう機会とあって、ぜひ一度対策がとれる
と、おかげで被害を最小限におさえるように努力するの大切だ。と思いま
した。こういう話はきちんと聞いて、こういうことが、たとえ、今度、自分が教
えておけるようにしたいと思っています。

パネル展示を見て

1月14日 地震の写真は、「わたしたちの神戸」だけでしかみて
(木) いなか、たつで、色々な、あ、たことと学べる良い機会だ
った。家がこわれている写真を見て、いかにひどいものか分かった。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

一番最初にあ、た災害から、日本の人々は防災をやる
ということもたくさん学んできたのだなと思った。

自宅の垂直避難の方法もある、ということや、知人の家や
ホテル、マイカーで待機するということなど、色々な経
験があったからこそ、今日まで、私たちが若い人に伝えて
きたのだと思う。だからこそ、私たちは、その人々の思い
をまたにしるやいないと感^じじた。

パネル展示を見て

1月15日 救助隊の手が届かないのか、近所の人達が救助
(金) 活動をしている写真がありました。今自分たちにできることを必死
にしているようにもかたじけなく、顔も知らない人の家族を助けている人にも思^いで、
近所の方とのコミュニケーションが大^きい課題と感^じじます。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

地震はいつくるか分からない、だからいつも万全で備え
ることが大切だと、深く思いました。1月16日の夜は、みんなが
普通の明日が来ると思っていたはずですが、近々、南海トラフ
が発生するともいわれているので、これまで防災学習で学ん
できたこと、20+禍である今だから注意することを重視して、
防災、減災に取り組んでいきたいです。パネル展示や資料
を見ると、大きな火災の写真を見ます。そのような写真をとったか
ら、自分の方では、自分の町が死んでいく、という絶望の中にとった物だと
思っています。そのような思いをもちながら、この震災を永遠に
語り継いでいきたいと思^いました。

パネル展示を見て

1月4日 声も聞こえず、動くわけでもない写真だけど、燃え盛る炎やたくさんのがれきりといった被害の現場を見て、被災者のつらさや悲しみが伝わった気がしました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

震災に合った人の話を実際に聞いて、体験した人しか分からない怖さや悔しさ、悲しみなどの感情が伝わってきました。パネルの写真では家が火災になって燃え盛っている写真、倒れたビルなどの写真がたくさんありました。震災については私も体験していないので、実際に被害に合った人々よりも震災の知識は不十分です。だから今回このような講演会を受けさせてもらったことは、いずれ未来に震災を伝えていくための知識となると思っています。また、これから先大地震などの大きな災害が来ても、今回学んだことを活かして、きちんと対処し、自分の身を守れるようにしたいです。

パネル展示を見て

1月13日 11月13日を思い出したことは、神戸は3.11の11月13日が11月13日だったのに、11月13日は3.11の11月13日になっているなど、びっくりしました。神戸の町を大切にしたいです。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて思ったことは、講演会では、三好さんにお話を聞きました。改めて話を聞いて、やはり震度7の地震は、3.11と同じく、災害をもたらすと思います。神戸は3.11の3.11の家よりも3.11を作るのが先かといっていたと、言っていました。パネルや話を聞いたたり見たりして、3.11神戸の町は3.11だったのに、11月13日は、3.11の3.11を3.11にするなど、びっくりしました。これから、命やこの神戸の町をしっかりと大切にしていきたいと思えます。

パネル展示を見て

1月14日 ぼくたちの知っている神戸の町がけむりと
(木) 炎におおわれ町はたちなおるのかというくらい
大変なことになっていた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今まで日本には様々な災害が起きている。
今回メインで学習した地震以外にも大変な被害を
よぶものもある。そのような災害が起きたとき経験
した方々の話によると、何が起きているのかわからず
パニックになると言う。そんなとき新聞などで
情報を提供し合い、人々が力を合わせて協力し合
うことにより、神戸の町は復帰できたのだと思う。
今後神戸以外の町で災害が起きたときでも
ボランティア活動などで助け合っていきたい。

パネル展示を見て

1月15日 震災当時はたくさんの炎とともに町が燃えい
(金) る写真がありました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

これまで知らなかった「震災」というものが、より自分の中で
明確になりました。高速道路が倒れたり、町が燃えたりと
している写真がずっと頭から離れません。しかし、その中でも新
聞で物資の場所を載せ、人々を救ったりするなど、みんな
で協力して助け合えるのが人間の良いところだということを知
れる機会にもなりました。今、コロナの中、自分たちは手洗い、
マスク、検温などが必要な時期に大地震が来たらどうな
るのか、どうすればいいのかわかりません。けれども、過去の
悲しい出来事から学び、そして生かして仲間と協力できた浪
いと思いました。

パネル展示を見て

1月13日 みんなが協力している写真が明るく、一だらく
(水) ついでに写真なんかをみるとホッとした。
今とは全然ちがうなと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今、日本では色々な災害がほぼ毎年あり、自分で自分を守らな
いといけない。避難だけじゃなく、避難後のこととか、計画
を立てておかないと本当に危ないなと思った。コロナがはやって
今災害が起きたら、自分だけじゃなく、周りの配りも
必要だ、というのが一番印象的だった。コロナも含めて、後世に
残せるようにちゃんと伝えていかなければと思う。パネルの写真は
比較しているのが、阪神・淡路大震災の被害の大きさを
示しているなと思った。でも、人の写真の方は一生懸命に
救助していたり、火を囲んでいたりして、「協力」という
文字が三つかび上ってきた。ありがとう、その時の神戸の人たち。

パネル展示を見て

1月14日 自分たちが知っている場所がくずれたり、
(木) みんな所にならなったり、地震はすごに美し
い町をこわしてしまふことが分かった。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

防災学習をして、地震はいつか町をこわして
しまふことを知った。話を聞いて、新聞をつくるのも
簡単なことではないと思った。これから、1.17に地震
を体験した人は少なくなると思う。けれど、震災を
体験していかなくても、聞いた話を私たちが若い人
たちに伝えていくことができる。そのために、毎年地震
について学習をしていき、神戸の中で1.17を忘れた、
知らないという人がいなくなるようにしていきたいと感じた。
自分自身でも災害をこわめることはできないけれど、い
つまたくることが分らない災害に備えて命を守りたいと思った。

パネル展示を見て

1月13日 展示されていたパネルには、悲しい顔をしていたり、
(水) 寒い中でも頑張っている生きのびようとしている人たちがうつっていました。

パネルの写真は、シャッターをきるのは怖かったと思うけれど、写真があるから私達にも
しっかり伝わっているのだと感じました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今回、三好さんの講演会を受け、自然災害の種類や、備えの仕方、震災当時の新聞の内容、など、たくさんを学びました。プリントの内容を見ると、自然災害の多さがすぐわかりました。震災だけでなく、津波、台風、土砂災害、などといった、たくさんの自然災害があり、いつ起るのか予測のできない災害であるから、備えをする必要があるのだと感じました。「備えに終わりはない」という言葉が印象強く、被害を完全に防ぐことはできないから、備えは大切なんだと思いました。今回こうして、三好さんが私たちに伝えてくれたように、私も、後に伝えていけるように、自然災害について、しっかりと知識を増やし、未来の「防災」というものを、よりよくなっていきたくと思いました。

パネル展示を見て

1月13日 人々の助け合いが月からはなれなくて、あんな寒い中、寒い中でも着

(水) 毛織のあつ火も困る。大変なときから、助け合おう。そう思いました。震災の大変さを通じてその場にいる人々の写真は、あんな多くの目に行きあたり、知りたがることを原稿しています。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

改めて、災害のことが分りました。災害が起るたびに、取材に行き、沢山のことを伝えてくださる新聞社の人は、本当に感謝です。僕もあるとき震度7を体験しました。それから、住んでいたら、水がくらくらなり、あたりが見えなくなったのを覚えていますが、写真でもあったように、人々の支え合いがあったから、乗り越えたことができた。そして今回、講演会を開いていただき、災害についての沢山の知識や、沢山の災害があった地域の様子を、これから災害があったときのために大切なことを得ることができた。事前に調べておこう、げき拍の写真を取る人も、これから自分が沢山の災害にあつたときに、困ることは沢山あると思います。その中で、助け合おう、とも増えたいと思います。もしも、あつた地域で災害があつたときには、自分達で、助けることをして、助け合おう。これから、災害についての知識も、人と人増やして、助け合い、ができるようにしていきたいと思いました。神戸新聞社の皆様、本当にありがとうございました。

パネル展示を見て

1月9日 建築物がくずれかたてこわれている写真とかがある中で
(金) たき火をして暖かそうにしている人やみんなで足かけ
合っている人たちがいてがんばろうという気持ちが伝わりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

地震などの災害を体験したときとまじりも言わせてもらって
いつ自分に災害などがおこるのかと考えるととても
恐ろしいものなんだと改めて分かることができました。
いつく子が分からないものに気づいてしっかり対策できるま
にしないといけないことができて分かりました。

パネル展示を見て

1月13日 大甲運の馬車がグシャって倒れていて、見ていて
(水) とはかわいそうでした。水もないから、消防員の方は
焼酎の缶を見ては、見ては心が痛くなりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

三好さんの話を聞いて思った感じたことは、災害って、
恐ろしいなあと思いました。九州では毎朝のように
大雨が降って、家がこわれて、みんな所にいて、帰ってきて、ちと
寛なあたりとかならまた入るまで、こわくて、くりかえ
して、かわいそうなあと思いました。また、新聞記
者で地震が来ても、負けずに一生懸命に元気で
写真をとったりしてすごいと思いました。地震や大雨
は、みんなも多いうから、なにか、と、なっている心
が救たと思いました。気をつけよう、大雨は地震が来たら、
逃げ

パネル展示を見て

1月14日 パネル展示を見て思ったことはいろいろな人のいろいろな思い
(木) がたくさんつまってるなと思いました。パネルを見て周りのもの
が写っているものを見てみなさん大変な思いをしてたんだなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて、たくさん知れたことがありました。自分が経験はして
ないから知らないこともあったけど、この講演会で、どういう被害
が多かったのかなど、たくさん知りました。地震などは、いつ来るのかわからないから、その被害が大きいので、いつまで
もみんなが、すぐできるように普段から、しっかり持ち物などを準備
することが大切だなと思いました。そして、今、この中、地震が
きてしまったら、どういうみんなをすればいいのかわからない場所
に、なにかを持っていくのはいいかな、今、しないといけないみんなの
仕方が、わしく分かりました。新聞社の方々の協力も、すごいな
と思いました。

パネル展示を見て

1月13日 いろいろな人々が協力して理解できない
(木) 状況の中、頑張っていて、できるだけ多くの命
を助けようとしていることが伝わった。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

経験をした人の話を聞いただけで分かったことが
たくさんあった。特に新聞社の人には、きっと自分は、
こんなことをしている場合なので、救助をしようとしている
人たちが手伝えるべきなのではないのか、という不安
におそわれていたと思う。しかし、そんな時でも
状況を何も理解出来ない人たちのために、
頑張っていたのだと思う。このように、ひさいしはの
人から話を聞くのは、地震がどれほど恐ろしい
ものなのかわかることができた。

パネル展示を見て

1月13日 当時の建物の崩壊がどれほどすごい
(お) ものなのかがよく分かりました。火災の被害も
真によく分かり、恐ろしいなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

自然災害がどれほど恐ろしいものか今まではい
まいち理解していませんでしたが、今回のたくさん
のお話を聞いたこととあって、分かった。地震が発生
することによって、火災が発生し、家が崩れ、街が
とんでもないことになり、ほとんどがなくなってしまう
生活できるような場所がなくなって大変にな
ってしまうと知り、今がどれほど良い生活なんだ
ろうかと思いました。土地震で失うものはあるけ
ど、その分得るものも十分あると分かりました。実際
に経験してない地震が来たら、落ちて行動がと
れずと知りました。

パネル展示を見て

1月13日 パネルを見て、神戸の昔がこんなになっていると
(お) わかった。びっくりした。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

三好さんが話してくれて、神戸のこととか、ほかの災いとかの
ことを話してくれて、頭にはいったし、これからちゃんとそとに
といたないな、と思いました。自分がいきているときに、ついに
地震が来たら、ちゃんと安全に避難して、ちゃんとしようがない
もとに、しなへん方がいいな、と思いました。
パネルを見て、神戸がこんなになっていることを想像して胸が
いたくなりました。昔と今とくらべたら、すごく復元していることがわかった。
いほのうちにちゃんとそとにええな、こう思いました。お母さんの話
とかをきいても、すごく胸がいたくなります。こんな、地震が
おこらないことをわがういて、自然災害はさからずには無理だから、
そとにええな、いいな、とわかりました。ありがどうございました。

パネル展示を見て

1月14日 被災したときは最悪だったけどここまでこれて
() すごい。復興するのが市民の力や新聞の力な人だ
らうと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

平成は自然災害の年と思った。1995年には阪神・淡路大震災
2011年には東日本大震災 2014年〜2019年にはたつぎに50年に
わたる大雨とその姿をみて印象にのこる災害が多かった。
今後50年に起こるといわれる南海トラフ巨大地震はほく
ろは震度7という大きい地震を経験していないというので怖
いししか思えない。今後起こるかもしれないし50年後に
起きるかもしれない。自然災害はこても怖いなのだと
改めて実感をもった。

パネル展示を見て

1月14日 今日、パネルを見た。そこには、家々がつぶれたり、至る所に火災の広がり、
(木) 当時の人々は、町が壊れたのと同じ状況に、絶望していたのではないかと、そんな中で、
人々の協力し合って、ボランティア活動している姿が目に残った。そしてまた起こるときは、今度は自然災害か
始まるかもしれない。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今回は、「阪神淡路大震災」の事について学んだ。写真を見ても多くの家々
が倒壊しており、周りには火の手があちこちに広がっているといった、恐ろしい状況
であった。それでも、悲しみを乗り越えて、ボランティア活動をした。一生懸命
救助活動をしている人が心に残った。今は、きれいな町へと復元しているが、
その今があるのは当時の人達が一生懸命に取り組んでいたからである。
今回勉強をした事を次世代にわたって伝えていきたい。また、情報が無い中で、
新聞社がどれだけ大切な役割を、という事が分かった。新聞には、新聞社の社員が
の思いが詰まっている。だから、もっと知りたい。最後に、いつまた大震災があるか
分からない。被害が少なくなるにはどうしたらいいか、どう動いていけばいいか
を考えていきたい。また、命を大切にしていきたい。

パネル展示を見て

1月13日 街がやけていて空も街もくろく当時の人
(水) は本当に不安や苦しき、悲しみいろんなことで
いっぱいだったんだろうなと思ひました。人々の協力は大切だと思ひました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

パネル展示や三好さんのおはなしを聞いて思ひたのは、今の神戸からは想像もできないくらい火事で
空も街も黒く、家やビルもめちゃくちゃだったことを
知りました。今の神戸になるまで、いろんな方々が
協力し合い、希望を持って復興をしてきてくださ
ったおかげなんだなと深く感ひることができ
ました。これから先、また大きな地震がきても、みんな
で協力し合い良い方向に向かひていけたらいいなと思ひました。